

シグマ委員会  
元年度第4回運営委員会議事録(案)

日時： 1989年9月14日(木) 13:30~16:30  
場所： 日本原子力研究所 本部 第3会議室  
出席者： 鹿園(委員長、原研)、北沢(東工大)、中嶋(法政大)、吉田(NAIG)、  
若林(動燃)、五十嵐、石井、菊池、水本、平岡(金子代理)(以上原研)  
オブザーバー： 井頭(東工大)、松延(住友原工)  
幹事： 中川(原研)

配布資料

1. 元年度第3回運営委員会議事録(案)とアクションリスト
2. 元年度WG開催数と旅費使用状況
3. 原子力学会誌特集記事「評価済核データライブラリーJENDL-3」の目次
4. JENDL-3の進捗状況
5. 核データ評価国際協力のテーマ(日本からの提案)
6. 核データブックの作成方針(答申書)
7. EPRI-NP2510 Guidebook for the ENDF/B-V Nuclear Data File(データブックの一例)
8. 1989年核データ研究会準備状況

議事

1. 前回議事録確認  
前回7月28日の議事録(配布資料1)を確認した。
2. 事務局報告
  - 1) 旅費使用状況  
配布資料2により8月末までのWG開催数と旅費の使用状況を中川氏が報告した。  
8月末までの会合開催数は29回で、旅費は昨年9月末とほぼ同額まで使用した。  
今後の開催数についての事務局案として、(年度頭初の予定数-開催実数)/2を  
限度とすることが提案され、了承された。事務局はこれをグループリーダーに伝え、  
グループリーダーからの意見を入れて次回までに、今後の開催予定数を決めることと  
した。
  - 2) Hodgson氏と Menapace氏が原研を訪れ、9月20日に講演会を開くことを五十嵐氏  
が、報告した。
3. 原子力学会誌特集記事  
菊池氏が、原子力学会誌特集記事「評価済核データライブラリーJENDL-3」

(配布資料3)を投稿したことを報告した。

#### 4. シグマ委員会2年報

2年報を10月中旬に投稿し、1月号に載る予定であると水本氏が報告した。

#### 5. NEAデータバンクのオンラインサービスへの対応

この件については、原研内部の調整がついていないので科技厅との交渉に至っていない、と菊池氏が報告した。話を詰めて、次回までに菊池氏が対応案を作成することとした。

#### 6. JENDL-3の編集状況

柴田氏(原研)が作成した配布資料4に基づき、中川氏がJENDL-3の現状を報告した。9月末までに終了の予定である。

#### 7. 動燃の炉定数調整WGについて

標記会合の様子を菊池氏が報告した。

#### 8. 核データ評価国際協力

菊池氏が核データ評価国際協力のテーマとして日本から提案する項目(配布資料5)を説明した。これは8月15日に核データ専門部会のグループリーダー会合を開き決めたものである。検討の結果、配布資料5を承認した。

#### 9. データブック作成に関する答申の検討

核データデータブック作成に関する答申(配布資料6)を小委員会委員長吉田氏が説明した。答申では「データ集としては、User oriented(UOタイプ)と Evaluator oriented(EOタイプ)の2種類があるが、まず、JENDL-3をもとに、断面積の図、群平均断面積、RI、2200m値、14 MeV 値等をまとめたUOタイプのデータブックをJAERI-Mレポートとして作成すること」としている。それ以外のデータブックの案も示され、関係するWGと核データセンターで今後計画して行くべきであると提案した。

これに対して $\nu$ や $\nu\sigma_f$ 、典型的な炉のスペクトル平均値、30 keVの断面積、 $\sigma_f$ を重ねた図...等も欲しいとの意見が出された。

検討の結果、本答申を受理し、核データセンターが早急にJAERI-Mレポート作成に着手することになった。

#### 10. 核データ研究会準備状況

井頭氏が配布資料8により、研究会の準備状況を次の通り説明した。

○研究会のアナウンスは学会誌9月号に掲載される。

○最終プログラムができ、研究会の案内、プログラム、原稿執筆依頼を発送した。

さらに、菊池氏から、中国の事情により、今年度は外国への連絡をしなかったことが報

告された。

#### 11. その他

- 1) 医学用原子分子・核データグループを来年度どうするかを検討する必要があると五十嵐氏が指摘した。
- 2) 原子力学会の「原子炉崩壊熱基準」研究専門委員会で成果報告書「原子炉崩壊熱とその推奨値」をまとめたことを中嶋氏が報告した。
- 3) 1990年1月24日～26日に原子力先端研究国際シンポジウムが開かれる。今回のテーマは「加速器による新展開」であり、核データからもポスターセッションに3件の発表を依頼すると水本氏が報告した。 ✓
- 4) 1991年の核データ国際会議のプログラム委員として菊池氏を推薦したことを五十嵐氏が報告した。
- 5) 原子力学会（核データ・炉物理）合同特別会合のテーマを次回に検討することにした。
- 6) 高橋博氏（BNL）が原研を訪れ、10月17日の午前に講演を行うことを平岡氏が報告した。 ✓
- 7) 次回は10月30日（月）に行うことにした。

#### Action list

No	担当者	内 容	期 限
1	事務局	今後のWG開催数の事務局案をグループリーダーに伝え、グループリーダーの意見を入れて、WGの予定数をまとめる。	次 回
2	菊池	NEAデータバンクのオンラインサービスに対する対応案を作成する。	次 回
3	全員	原子力学会春の年会における（核データ・炉物理）合同特別会合のテーマを考える。	次 回